



ロータリー財団の奨学金は世界全会員の善意 であり、返還は要りません。

【2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生の募集案内】

1. 目的

外国文化を深く認識すると共にロータリーが理想的な思想として推奨している「超我の奉仕」を理解し、人々の生活の向上や人道的ニーズに応えて国際親善使節として活躍し、世界平和に貢献する人材育成のための海外留学奨学金の支給

2. 奨学金の種類

1年度奨学金(1年間留学用:上限米価26,000ドル限定経費支給)

マルチイヤー奨学金(学位取得を含む2年間留学用:毎年一律米価13,000ドル限定経費支給)

文化研修奨学金(3または6ヶ月間の集中語学研修または文化実習用:3ヶ月奨学金は上限米価12,000ドル、6ヶ月奨学金は上限米価19,000ドル限定経費支給)

3. 申請有資格者

奨学金期間開始時点で、大学や短大の課程を少なくとも2年間修了した者か、高校卒業者なら少なくとも2年間常勤職業に従事した者(就学可能な身体障害者を含む)

ロータリークラブのある国の国民で、ロータリアンの家族以外者

ローターアクター

年齢や性別の制限無し

4. 留学先国

ロータリークラブのある国や地域に限定

5. 申請方法

申請者の本籍、現住所、全日制在学地、または常勤地の地元ロータリークラブを通じて

6. 申請書の請求、申請、及び提出先

申請書の請求先と提出先:石黒慶一ガバナー事務所(申請書は日本語の申請書1通、及び英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語など予め用意されている留学先外国語申請書1通、計2通)(用意されていない外国語申請書は英語申請書で代用可)

申請書受付期間:2006年1月1日から2006年5月31日まで(発送日有効)

7. 地区推薦者の選考と募集人数

書類選考試験期日:2006年6月2日(金)

筆記・外国語(英会話及び留学先国語会話など)・面接の各試験日、及び地区推薦合否判定期日、会場:2006年6月25日(日)山形グランドホテル(詳細は後日連絡)



募集人数：4名（年変動有）

8. 地区推薦者の申込書提出締切：

地区推薦合格者の不備申請書（若しもあれば）訂正の再提出締切りは2006年8月1日
地区先選考報告書等を含む国際ロータリー日本事務局・ロータリー財団室（東京）締切りは2006年9月1日

ロータリー財団管理委員会による財団奨学生（米国・エバンストン市）締切は2006年10月1日

9. ロータリー財団管理委員会による奨学生の決定：2006年12月15日

10. 経験者の声：Aさん「例会参加を気合で乗り切り、楽しく両国の音響文化の交流が出来ました。現在も続けています。」Bさん「今の翻訳業を続けられるのは、この留学が転機です。」Cさん「この留学が転機となり、外国で国際観光関連の仕事をしています。」D君「原子力の平和利用研究に従事していますが、人づくりによる世界平和を目指すロータリアンの皆さんから研究ポリシーの大切さを学びました。」

11. このような募集：毎年実施（申請書の請求先と提出先は毎年変更、奨学金額や申請書受付等の期日は年によって多少変更される場合あり）

【2007年7月1日～2008年6月30日勤務開始希望の大学教員のためのロータリー補助金募集案内】

1. 目的

優れた教授能力と指導力を有し、受け入れ（ホスト）国の国際親善施設にふさわしい高潔な人格を有する大学教員が、発展途上国の大学で職業奉仕として教務に就き、教育機関の教授法や知識の交換を推進しながら同国の高等教育の充実に図ると共に、相互理解を深め合うための補助金支給

2. 種類

3～5ヶ月奉仕：上限米価12,500ドル

10～12ヶ月奉仕：上限米価22,500ドル

3. 申請有資格者と指導分野

応募資格：短期大学あるいは大学のレベルで3年以上教員の経験を有するロータリークラブのある国の国民で、受け入れ国の言語に堪能であり、ロータリークラブがある開発途上国での教務希望者。なお、申請者はロータリアンでもロータリーアンでなくともよく、性別、年齢、既婚・未婚別の制限は無い。

指導分野（実績例）：農業、ビジネス／経済学、コンピューター工学／テクノロジー、教育／識字率の向上、工学、保健／医学など

4. 申請方法

申請者の本籍、現住所、全日制在学地、及び常勤地の地元ロータリークラブを通じて

5. 申請書の請求、申請、及び提出



申請書の請求先と提出先：石黒慶一ガバナー事務所（日本語用申請書 1 通、及び英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語で用意されている勤務先外国語申請書 1 通、計 2 通）（用意されていない外国語申請書は英語申請書で代用可）

申請書の受付開始～提出締切：2006 年 1 月 1 日から同年 5 月 31 日まで（厳守）

地区候補者の選考：2006 年 6 月 25 日（日）（詳細は後日連絡）

募集人数：地区 1 名

選考結果の通知：2006 年 12 月 15 日

6. 経験者の声：A 教授（米国 エチオピア）「この奨学金プログラムのお陰で、発展途上国の学生や教員の抱える問題が深く理解出来るようになった。もう一度東アフリカ諸国を訪問したい。」B 博士（英国 ウガンダ）「またとない貴重な体験でした。この補助金の利用者が少ないのは残念です。」
7. このような募集：毎年実施（申請書の請求先と提出先は毎年変更、奨学金額や申請書受付等の期日は年によって多少変更される場合あり）

【2007～2009 年入学希望のロータリー世界平和フェローシップ募集案内】

1. 目的

世界平和及び紛争解決のための国際問題研究分野の修士号もしくはこれと同等の学位記取得希望者のための奨学金支給

2. 奨学金額：ロータリーセンター及び留学期間によって異なる限定経費全額支給

3. 留学先となる 6 ロータリーセンター提携大学と留学期間

米国・デューク大学及びノースキャロライナ大学チャペヒル校・21 ヶ月間

米国・カリフォルニア大学バークレー校・21 ヶ月間

日本・国際基督教大学・24 ヶ月間

アルゼンチン・サルバドル大学

英国・ブラッドフォード大学・15 ヶ月間

オーストラリア・クィーンズランド大学・16 ヶ月間

4. 申請有資格者

世界平和及び紛争解決のための国際問題研究分野の学士またはそれ相当学位記取得者

5. 申請方法

申請者の本籍、現住所、全日制在学地、及び常勤地の地元ロータリークラブを通じて

6. 申請書の請求、申請、及び提出

申請書の請求と提出先：石黒慶一ガバナー事務所（日本語申請書 1 通、及び英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語で用意されている入学先外国語申請書 1 通、計 2 通）（用意されていない外国語申請書は英語申請書で代用可）

申請書の受付開始と提出締切：2006 年 1 月 1 日から同年 4 月 30 日まで（厳守）



地区候補者の選考時期：2006年5月下旬

募集人数：地区1名

世界競争制による選考結果の通知：2006年11月

7. このような募集：毎年実施（申請書の請求先と提出先は毎年変更、奨学金額や申請書受付等の期日は年によって多少変更される場合あり）

【石黒慶一ガバナー事務所（2006年6月30日までの連絡先）】

〒997 0034 鶴岡市本町1丁目5-22

TEL:0235 29 8340 / FAX:0235 29 8341 / e-mail: governor@rid2800.jp

【関原亨司ガバナー事務所（2006年7月1日以降の連絡先）】

〒998 0023 酒田市幸町1-10-20 東急プラザ1階

TEL:0234 26 0705 / FAX:0234 26 0706 / e-mail: governor-e@rid2800.jp

以上